

介護職員等特定処遇改善加算にかかる取組内容について

社会福祉法人春生会 法人事務局

・介護職員等特定処遇改善加算について

介護職員等特定処遇改善加算については、介護人材確保のための取組をより一層進めるため、経験・技能のある介護職員に重点化した更なる処遇改善を行うため、令和元年10月の消費税引き上げに伴う介護報酬改定において創設され、当法人におきましても加算算定を行っています。

当該加算の算定を行うにあたっては、下記内容についてホームページ等による掲載を行うことが求められていますので、この度以下の通り掲載するものです。

《加算の取得状況》

各事業所のサービス提供体制強化加算、特定事業所加算、もしくは日常生活支援強化加算の取得状況により「介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ」もしくは、「介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ」の何れかを算定しています。

《職場環境等要件》

| 区分                  | 内容  |
|---------------------|---|
| 入職促進に向けた取組          | <input checked="" type="checkbox"/> 法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化  |
|                     | <input checked="" type="checkbox"/> 事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築  |
|                     | <input checked="" type="checkbox"/> 他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築   |
|                     | <input checked="" type="checkbox"/> 職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施  |
| 資質の向上やキャリアアップに向けた支援 | <input checked="" type="checkbox"/> 働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等 |
|                     | <input checked="" type="checkbox"/> エルダー・メンター(仕事やメンタル面のサポート等をする担当者)制度等導入  |
|                     | <input checked="" type="checkbox"/> 上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保  |
| 両立支援・多様な働き方の推進      | <input checked="" type="checkbox"/> 子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備  |
|                     | <input checked="" type="checkbox"/> 職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備   |
|                     | <input checked="" type="checkbox"/> 有給休暇が取得しやすい環境の整備  |
| 腰痛を含む心身の健康管理        | <input checked="" type="checkbox"/> 業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実  |
|                     | <input checked="" type="checkbox"/> 介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施  |
|                     | <input checked="" type="checkbox"/> 短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施   |
| 生産性向上のための業務改善の取組    | <input checked="" type="checkbox"/> 雇用管理改善のための管理者に対する研修等の実施   |
|                     | <input checked="" type="checkbox"/> タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減   |
|                     | <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の活躍(居室やフロア等の掃除、食事の配膳・下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供)等による役割分担の明確化                                 |
| やりがい・働きがいの醸成        | <input checked="" type="checkbox"/> 業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減  |
|                     | <input checked="" type="checkbox"/> ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善   |
|                     | <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施   |
|                     | <input checked="" type="checkbox"/> 利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供   |
|                     | <input checked="" type="checkbox"/> ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供   |

以上